平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名　天馬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7958　URL　http://www.tenmacorp.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉田　長幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員経営管理部長　(氏名) 堀　隆義　TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	43,232	8.1	1,814	130.9	1,989	175.0	1,094	―
23年3月期第3四半期	39,985	49.2	786	―	724	112.2	△4,679	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△1,542百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△4,187百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	39.72	―
23年3月期第3四半期	△167.09	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	66,700	55,287	82.9	2,027.57
23年3月期	67,496	57,594	85.3	2,088.43

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　55,287百万円　23年3月期　57,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	10.00	―	10.00	20.00
24年3月期	―	10.00	―		
24年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	5.3	2,000	106.4	2,300	149.7	1,400	―	50.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	29,813,026 株	23年3月期	29,813,026 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,545,587 株	23年3月期	2,235,529 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	27,542,259 株	23年3月期3Q	28,003,590 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績予想に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故により、企業活動の停滞、消費マインド低下に伴う個人消費の低迷等、深刻な影響を受けました。昨年夏以降、サプライチェーン復旧による生産の上向き、個人消費の下げ止まり等、持ち直しの兆しも見られましたが、欧州債務危機による世界経済の減速懸念、急激な円高進行等、先行き不透明な状況になりました。

このような厳しい状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野が新製品やカラー企画製品を中心に売上高を伸ばしたこと、工業品合成樹脂製品分野が世界的な不況からの回復の過程で受注が増加したこと等により、売上高が増加しました。

この結果、売上高は432億32百万円（前年同期比108.1%）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加等により営業利益が18億14百万円（前年同期比230.9%）となり、経常利益は前年同期との比較では為替差損が減少したこと等により19億89百万円（前年同期比275.0%）となりました。

また、東日本大震災に係る災害による損失等の特別損失があり、四半期純利益は10億94百万円（前年同期は投資有価証券評価損を主因として46億79百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

デフレが進行する厳しい環境にありましたが、ハウスウエア合成樹脂製品分野につきましては、フィッツプラスシリーズを中心とする大型収納ケースやカラーコンビネーションに力点を置いた新製品の販売促進に加え、復興需要もあり売上高が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は、170億54百万円（前年同期比114.8%）となり、セグメント利益（営業利益）は14億82百万円（前年同期比224.2%）となりました。

（中国）

地域内のグループ各社は、世界的な不況からの回復の過程で、工業品合成樹脂製品の受注が増加し、東日本大震災の影響による一時的な受注落ち込みがあったものの、総じて業績は改善傾向にありました。尚、前年同期との比較では円高の進行により円貨換算額が縮小しております。

この結果、当セグメントの売上高は、131億59百万円（前年同期比95.5%）となり、セグメント利益（営業利益）は４億44百万円（前年同期比158.1%）となりました。

（東南アジア）

世界的な不況からの回復と東南アジア諸国の堅調な内需に支えられ、工業品合成樹脂製品の受注が増加しました。

利益面はPT. TENMA INDONESIAが前年同期比減益となりましたが、地域内の他のグループ各社は増益となりました。尚、TENMA THAILANDは、タイの洪水による人的・物的被害を受けておりません。

この結果、当セグメントの売上高は、130億18百万円（前年同期比114.8%）となり、セグメント利益（営業利益）は５億36百万円（前年同期比102.7%）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて７億95百万円減少し、667億円となりました。これは、受取手形及び売掛金が23億30百万円増加しましたが、投資有価証券が時価の下落により14億70百万円、売上債権の増加等に伴い現金及び預金が12億82百万円、それぞれ減少したこと等によります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて15億11百万円増加し、114億13百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が５億91百万円、未払費用等の増加によりその他流動負債が11億33百万円、それぞれ増加したこと等によります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて23億７百万円減少し、552億87百万円となりました。これは、利益剰余金が５億44百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が14億76百万円、為替換算調整勘定が11億60百万円、それぞれ減少したこと等によります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の第３四半期連結累計期間の業績は、平成23年８月５日に公表いたしました通期の業績予想を上回るペースで進捗しております。しかし、欧州債務危機や超円高の進行等により、世界経済やわが国経済の先行きに不透明感が強まっておりますので、通期の業績予想につきましては、平成23年８月５日に公表いたしました予想を変更せず、この達成に努めてまいります。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

① 税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,164,829	20,882,591
受取手形及び売掛金	10,126,059	12,456,101
商品及び製品	1,607,527	1,845,345
仕掛品	399,158	327,140
原材料及び貯蔵品	2,496,818	2,683,507
繰延税金資産	303,198	190,719
その他	1,249,426	1,570,591
貸倒引当金	△10,532	△9,300
流動資産合計	38,336,483	39,946,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,026,830	6,467,908
機械装置及び運搬具（純額）	7,640,812	7,411,460
その他	3,093,491	3,326,534
有形固定資産合計	17,761,133	17,205,901
無形固定資産	2,003,271	1,860,947
投資その他の資産		
投資有価証券	7,990,425	6,520,294
繰延税金資産	1,153,978	893,434
その他	261,123	283,718
貸倒引当金	△10,840	△10,840
投資その他の資産合計	9,394,686	7,686,607
固定資産合計	29,159,090	26,753,455
資産合計	67,495,573	66,700,148
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,699,457	7,290,058
未払法人税等	42,060	199,255
賞与引当金	444,030	293,220
災害損失引当金	58,004	9,331
その他	1,781,016	2,914,212
流動負債合計	9,024,567	10,706,076
固定負債		
退職給付引当金	186,455	45,064
役員退職慰労引当金	580,366	593,217
資産除去債務	10,365	9,628
繰延税金負債	100,144	54,203
その他	－	5,033
固定負債合計	877,330	707,145
負債合計	9,901,897	11,413,221

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	26,613,843	27,157,571
自己株式	△3,163,717	△3,378,747
株主資本合計	61,599,976	61,928,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△969,849	△2,445,691
為替換算調整勘定	△3,036,455	△4,196,231
その他の包括利益累計額合計	△4,006,304	△6,641,922
少数株主持分	5	176
純資産合計	57,593,676	55,286,927
負債純資産合計	67,495,573	66,700,148

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	39,985,028	43,231,933
売上原価	33,776,341	35,839,850
売上総利益	6,208,687	7,392,083
販売費及び一般管理費	5,422,762	5,577,648
営業利益	785,925	1,814,436
営業外収益		
受取利息	117,876	95,709
受取配当金	264,499	282,110
その他	75,363	101,600
営業外収益合計	457,737	479,419
営業外費用		
売上割引	45,815	52,941
開業費償却	－	25,453
為替差損	428,613	202,657
その他	45,695	23,432
営業外費用合計	520,123	304,484
経常利益	723,539	1,989,371
特別利益		
固定資産売却益	19,623	16,920
投資有価証券売却益	－	5,736
貸倒引当金戻入額	4,039	－
負ののれん発生益	397,135	－
その他	722	－
特別利益合計	421,518	22,656
特別損失		
固定資産売却損	12,697	18,873
固定資産除却損	11,874	2,583
減損損失	6,000	26,000
投資有価証券評価損	5,080,100	－
特別退職金	180,054	93,630
災害による損失	－	108,361
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,810	－
その他	219,917	73
特別損失合計	5,520,451	249,520
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△4,375,394	1,762,507
法人税等	302,182	668,555
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△4,677,576	1,093,952
少数株主利益	1,478	7
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△4,679,053	1,093,945

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△4,677,576	1,093,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,536,639	△1,475,842
為替換算調整勘定	△1,046,455	△1,159,798
その他の包括利益合計	490,183	△2,635,640
四半期包括利益	△4,187,392	△1,541,688
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,223,140	△1,541,687
少数株主に係る四半期包括利益	35,748	△1

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14,858,802	13,784,299	11,341,927	39,985,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	139,759	3,254	―	143,013
計	14,998,560	13,787,553	11,341,927	40,128,041
セグメント利益	661,155	280,663	521,899	1,463,717

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,463,717
セグメント間取引消去	17,748
全社費用(注)	△695,540
四半期連結損益計算書の営業利益	785,925

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「東南アジア」セグメントにおいて、第１四半期連結会計期間より、新たに取得したPT. SUMMITPLASTを連結の範囲に含めております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては397,135千円であります。

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,054,391	13,159,117	13,018,425	43,231,933
セグメント間の内部売上高又は振替高	146,987	24,216	―	171,203
計	17,201,379	13,183,333	13,018,425	43,403,137
セグメント利益	1,482,367	443,695	536,153	2,462,215

2　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,462,215
セグメント間取引消去	9,229
全社費用(注)	△657,009
四半期連結損益計算書の営業利益	1,814,436

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

3　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。